

回覽

千葉市指定有形文化財
Chiba City Tangible Cultural Properties

旧生浜町役場庁舎

OLD OIHAMA TOWN OFFICE



千葉市
Chiba City

○旧生浜町役場庁舎の沿革と特色

〈旧生浜町役場の沿革〉

明治11年「郡区町村編成法」が公布され、翌・明治12年に浜野、村田2村の戸長役場が浜野に設けられた。

明治22年4月、前年4月に公布され「市制・町村制」の公布を受けて5ヶ村が合併し、生実浜野村が誕生。

大正14年、生実浜野村は生浜村となり、その後、昭和3年に生浜町になる。

町制施行を機に新しい町役場として本建物の建設が計画され、昭和6年、生浜町浜野西雷1290番の3（現在地）150坪を建設用地として譲りうける。

昭和7年3月、建物の建築工事に着工。同年5月、上棟式を行い、同年8月に竣工。

昭和30年、千葉市との合併によって生浜支所となり、その後、生浜地区市民センターとして平成3年度まで使用された。

平成4年、地区市民センターの新築により、教育委員会が移管を受けて保存・整備し現在に至っている。



建物復元図(正面)

〈建物の特色〉

旧生浜町役場庁舎は、木造二階建洋風建築で主屋根がフランス瓦葺きの千葉市内では数少ない昭和初期の洋風建築物のひとつです。

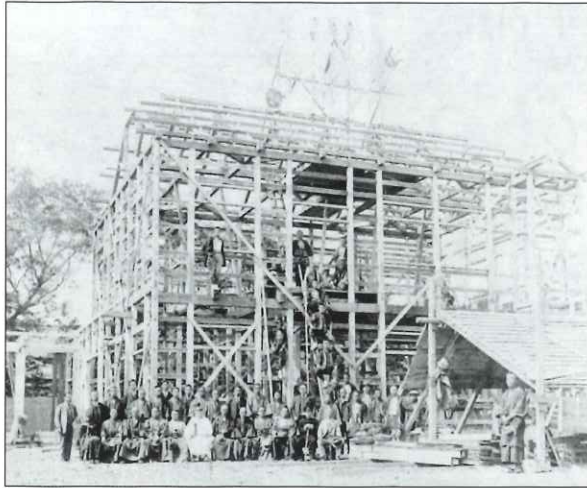
この建物は、玄関ポーチと玄関ホールを中心に増改築がみられるものの、全体に保存状態は良く、建物の随所にみられる洋風建築意匠の簡略様式は、明治時代に始まる我国の木造洋風建築の、流れを汲むもので、近代建築史の変遷を考える上で貴重なものです。

とくに、玄関ポーチ上のバルコニーは明治初期から大正期にかけて建てられた郡役所建築によく見られる擬西洋意匠表現をもち、旧生浜町役場の外観を象徴的に飾っていたものと考えられています。

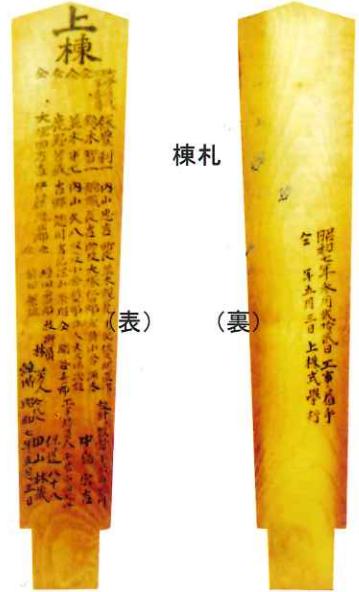
建物の延床面積は263.97㎡で、このうち一階は156.40㎡、二階は107.57の床面積をもち、一階には玄関ホール、事務室、町長室、小使室等が設けられ、二階には議会室、議員控室が配置されています。



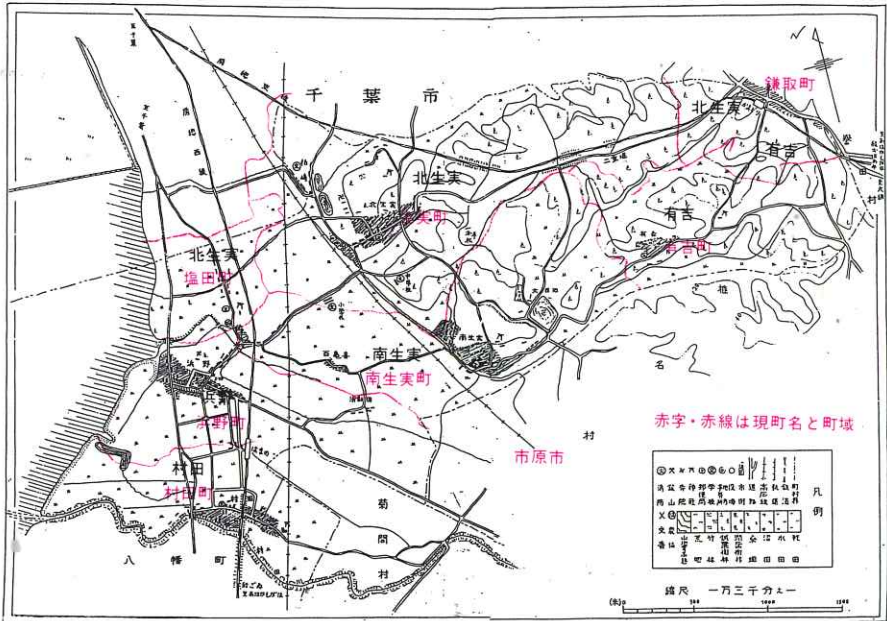
復元された議会室(二階)



上棟式の様子(昭和7年5月)

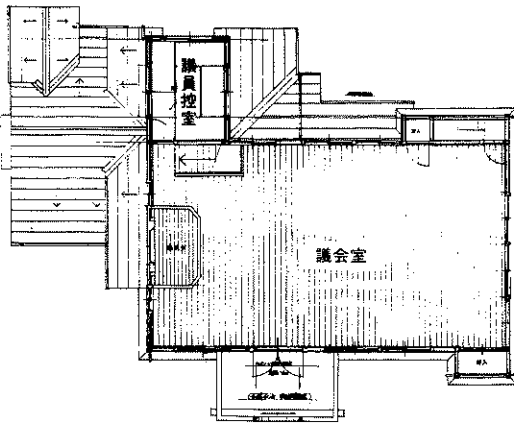


屋根裏から発見された棟札

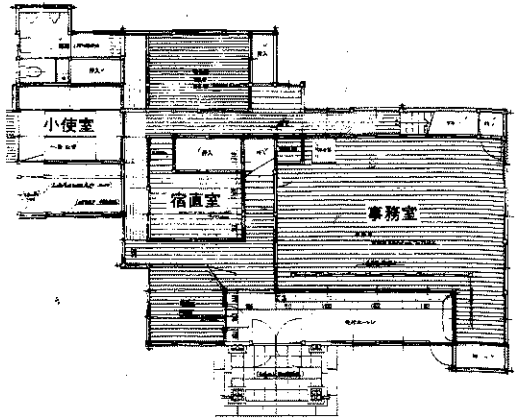


旧生浜町の町域

○部屋配置図



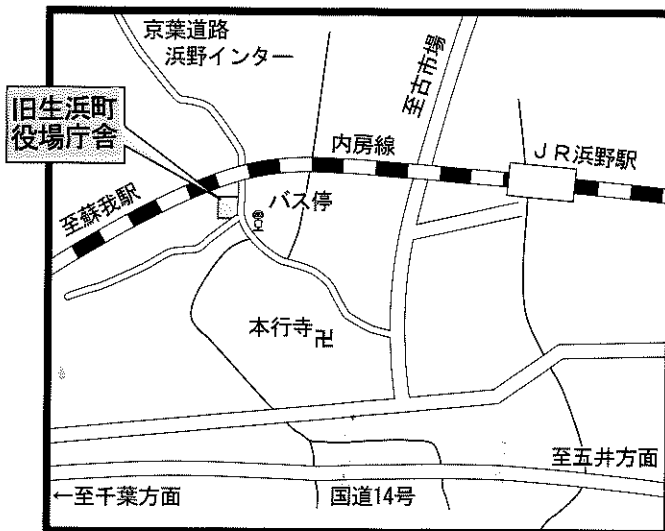
(二階)



(一階)

〈利用案内〉

- ・所在地 千葉市中央区浜野町1290番地の3
- ・公開時間 午前9時00分～午後4時30分
- ・公開日 年末年始を除く火曜日・木曜日・土曜日
(その日が祝日にあたる時はその翌日)
- ・交通 JR千葉駅より、小湊バス・姉崎行、喜多行きに乗車、塩浜橋下車、徒歩3分



問合せ先

千葉市中央区問屋町1-35
 千葉ポートサイドタワー 11階
 千葉市教育委員会
 生涯学習振興課
 Tel. 043-245-5962